

Scope KANSAI

関西経済を読む

関西の経済、経営、企業、業界などさまざまな話題・トピックスを取り上げます。(毎週木曜日掲載)

大阪市発、中小企業が航空機産業参入を目指す取り組み、「次世代型航空機部品供給ネットワーク(略称:OWO)」の活動と参加企業の紹介を、全5回の特集記事でご紹介します。

『大阪の翼に乗って、航空機産業参入に向けて飛ぶ。 次世代型航空機部品供給ネットワーク』

「注目を集める航空機産業分野への挑戦」

次世代型航空機部品供給ネットワーク(略称:OWO=On the Wings of Osaka 大阪の翼に乗って)、大阪市内を中心とする中小企業のネットワークの活動が注目されている。

OWOは、(株)田中〔住吉区〕を代表に、三陽鉄工(株)〔福島区〕、(株)SDC〔堺市〕、由良産商(株)〔西区〕、中川鉄工(株)〔城東区〕の5社が発起人となり、2005年4月1日に正式に設立された。今では会員44社を抱えるネットワークへと成長している。

「中小企業が極めて高い技術水準を要求される航空機産業へ参入することは容易ではありません。一中小略一新分野進出のために経営革新を必要とする中小企業が、パートナーシップ型ネットワークを使って、次世代型航空機市場参入に要する諸事業を共同で行うことにより、付加価値の高いマーケットに通用する革新的技術を確保し、ひいては販路開拓につながることを目指すものです」(OWO設立趣意書より)

日本のモノづくりにおいて、技術水準の高い中小企業が集積する大阪では、独自に航空機産業分野に取り組む企業が約100社存在する(2002年大阪市製造業実態調査より)。関連企業が連携することで、付加価値の高い次世代型航空機の部品を受注できるのではないかと考えたことが設立のきっかけとなっている。

「航空機産業の現状」

米ボーイングの「787」や欧州エアバス「A380」に代表される次世代型航空機は、激しい受注合戦を繰り広げている。「787」の受注量は11月8日現在で24社より295機とすこぶる好調で、エアバスも「A380」の受注量が16社より159機となっている。米ボーイングは今年10月19日、「787」の生産計画を引き上げると発表した。予想を上回る受注に伴い、共同開発パートナーの三菱重工業などと生産を拡大する方針で検討中である。日本国内では、川崎重工、富士重工が機体全体の35%を開発・生産分担している。

最新技術の粋を極める機体開発において、重要視されるポイントは軽量化だ。原油価格の急上昇により航空燃料の急騰は航空会社の経営を圧迫し、より低燃費の旅客機が求められている。これは、200万～300万個におよぶネジやベアリングなどの部品単位にまで求められる。ここに、技術力のある企業にとって参入のきっかけがありそうだ。

小ロット、短納期、高品質などで厳しい経済状況を潜り抜けてきた大阪の中小企業の技術力をもってすれば、軽量部品の開発などで航空機産業分野に進出する余地は十分にある。これこそが、OWOの目指す道である。

「航空機産業のシンクタンク」

OWOの目指すところは、共同受注そのものではない。高度な独自技術に基づく製品をもってしても、中小企業が海外のエンドユーザーに直接部品納入を叶えることは簡単ではない。中小企業が参入の障壁をクリアするために、OWOはシンクタンクとして

の役割を担っている。情報収集や調査業務を通して、会員企業の航空機業界参入をサポートしていく。

シンクタンク機能を構築する重要な要素となる3つの研究会活動は、月に各1回程度の割合で開催されている。

航空機産業研究会では、航空機産業全般の研究を通して、会員企業の技術力を発揮できる部品分野の探求や相互連携の可能性を探る。ここから、部品開発のクラスターなどが続々と生まれることが期待されている。次回開催は11月28日を予定している。

セキュリティ研究会は、パートナーシップ型ネットワークのボトルネックとなり得る、営業情報交換のためのセキュリティシステム構築を目指す。もちろん、会員各社の社内セキュリティレベル向上にも役立つものである。今回は11月14日の開催。

製造された航空機部品の物流システムや、機体整備に係る部品供給に対応出来る物流システムの検討を目標にする物流研究会も、開催に向けての準備が着々と進んでいる。

「今後のOWOイベント情報」

12月20日には賛助会員向けの事業報告会を大阪産業創造館で、来年2月10日には国際会議場にて、第3回フォーラムを開催する。平成17年度大阪市ものづくり活力創造事業計画認定〔大阪市〕、異分野連携事業分野開拓計画に係る認定〔近畿経済産業局〕を受けるなど、行政やオペザーバーの支援を追い風に、その活動はさらに活発さを増している。今、大阪の翼から目が離せない。

正会員企業一覧 [50音順(役職毎)]

池田金属工業株式会社	中川鉄工株式会社
業種<精密金属部品製造>	業種<金属製品製造業>
株式会社エスディーシー	奈良精工株式会社
業種<プラズマ浸炭加工技術>	業種<金属精密部品製造>
株式会社三輝ブラスト	日本フッソ工業株式会社
業種<非鉄金属素形材製造業>	業種<フッ素樹脂焼付コーティング・ライニング>
三陽鉄工株式会社	枚岡合金工具株式会社
業種<超精密機械加工>	業種<冷間鍛造部品用金型製造> <デジタル統合書類管理システム>
株式会社田中	福地金属株式会社
業種<チタンおよびステンレスボルト等ねじ部品>	業種<冷間鍛造加工>
株式会社中央電機計器製作所	株式会社マルイ
業種<計測システム・試験機・制御装置の開発・設計・製造>	業種<力学および環境試験機の製造販売>
株式会社ツールオカフジ	株式会社森川製作所
業種<機械工具製造>	業種<特殊照明器具製造販売>
株式会社東京チタニウム	由良産商株式会社
業種<チタン材料販売および加工販売>	業種<ねじおよびねじ部品の総合商社>
東レ株式会社	理光産業株式会社
業種<繊維、プラスチック、ケミカル、炭素繊維複合材料など>	業種<工業用フロートおよびレベルスイッチ>